

相馬  
ゆうこの

# 南千住レポート

まちづくり、  
くらしの情報を  
届けます



区議団控え室 荒川区荒川2-2-3区役所内5階 ☎:3802-4627  
FAX: 3806-9246 / ✉:arajcp@tcn-catv.ne.jp  
相馬ゆうこ事務所 荒川区南千住5-1-6・2階  
☎・FAX:3807-4192

・HP→  
・Twitter @m1010\_yuko  
・araken-nan.jugem.jp

## 新年度「過去最大」いのち・暮らしを守る予算編成を

6日(月)、荒川区が新年度の予算案を発表。一般会計予算案は、1133億7千万円(前年度比+62.1億・5.8%増)と過去最大になりました。



**高齢者・障がい者支援** 重点施策では、新たに「地域福祉」の項目がふえ、「在宅高齢者の支援」として補聴器購入費助成の対象拡大や自立支援給付の

拡大・充実とともにたんぼぼセンターの定員拡大・相談支援の実施など。実質年金が目減りする中で、高齢者・

荒川区の  
新年度予算

**1133億  
7千万円**

重点施策は…

障がい者のくらしを支える、きめ細かな支援が求められています。



安心・安全	新型コロナウイルス対策	26.6億
	災害対策の強化・充実 (防災スポット、永久水利の整備)	9735万
	自転車の安全対策(走行空間の整備など)	4032万
	空き家対策(除却助成の充実、所有者調査など)	3707万
子育て支援	★区立小中学校の学校給食の無償化	7.5億
	★区立幼稚園の給食の開始	2503万
	医療的ケア児等の支援 (保育園での受け入れ体制整備を支援など)	9392万
	若者の相談支援	3320万
	★児童養護施設等を退所する若者の支援	500万
地域福祉	在宅高齢者の支援(補聴器助成の対象拡大、自立支援用具に浴室用敷パットを追加など)	7236万
	★介護サービスの人材確保支援 (ケアマネの資格取得、研修費用を補助)	976万
	重度障がい者の支援(施設整備補助の拡充など)	3153万
	障がい児支援(定員拡大、相談支援の開始などたんぼぼセンターの機能を強化)	6034万
産業振興	★GX(グリーントランスフォーメーション)に 取り組む企業の支援	3476万
	インバウンドの受け入れ体制強化	718万
環境対策	地球温暖化対策の充実 (ZEH住宅の助成、エコ助成の拡充など)	4454万
	森林関連事業の充実	770万
にぎわい	読書のまちづくりの推進	1.4億
	★荒川遊園スポーツハウスのリニューアル	5832万
	宮前公園の整備	5452万

**子育て支援** 「子育て支援」では、繰り返し求めてきた小中学校の給食無償化、区立幼稚園でも無償給食を開始。少子化対策として、本気の保育・教育費の負担軽減が求められています。



**施設整備に基金積立** その他、本庁舎建替えに12.5億円、学校建替えに7億円を基金(区の貯金)に積み立てます。計画的な施設整備とともに、物価・電気代高騰から区民のくらし・営業・命を守る新年度予算編成が求められています。28日(火)~3月10日(金)開催の予算特別委員会で、予算案審議を行います。

みなさんのご意見をお寄せ下さい。傍聴にも、ぜひ、お越しください。

※★は新規施策

## 小中学校の給食無償化 来年度から実現

物価高騰の中「保護者の負担軽減」として、区立小中学校34校の給食を無償化します。長年、区民と学校現場から要望され、日本共産党区議団が、繰り返し提案。区と与党会派は、消極的な姿勢でしたが、区民の声と少子化対策から、いよいよ実施に踏み切ります。



**教員の徴収事務も軽減** 23区では葛飾、北、品川、中央、足立の5区が給食無償化を決定（足立は中学のみ）。教職員が行ってきた給食費の徴収事務などがなくなり、本来の子どもたちと接する時間が生み出せます。

共産党区議団はさらに教育費の負担軽減のため、就学援助の基準引き上げを提案します。

## 補聴器購入費助成対象 所得350万円まで拡大

来年度から、対象を「区内に住む65歳以上・住民税非課税の方」から「区内に住む65歳以上・年間所得350万円未満の方」に拡大。これにより「区内の65歳以上の約9割が対象になる」としています。



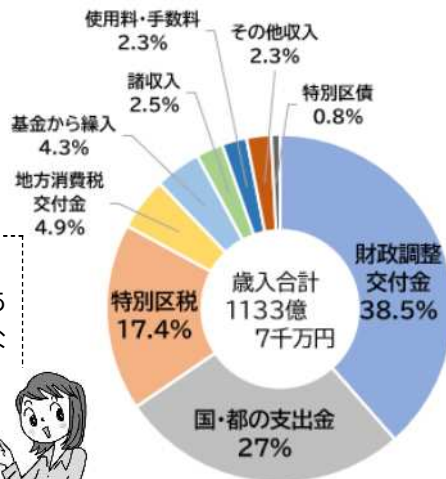
補聴器は両耳で平均30万円以上と高額で、補助額の引き上げも必要。共産党区議団は、現在の補助額2.5万円を5万円に引き上げる条例提案を行います。

## 区の財源はあります ～くらし第一の予算に

区の年間収入（歳入）は、区民税と国・都の補助金  
の他、不足分を財政調整交付金（※）によって補てん  
されています。物価高騰で区  
民生活は大変ですが、予算  
案では、区民税は14億円増  
（+7.8%）、都区財政調整  
交付金は31億円増（+7.5%）  
を見込んでいます。

荒川区はよく「予算がない」といいますが、予算の不足分は、調整交付金で配分されます。また、基金（区の貯金）も400億円以上あり、区民のくらし第一の予算編成こそが問われます。

※財政調整交付金とは…  
本来、市区町村の財源である固定資産税、法人住民税などの23区合計額を都（44.9%）：23区（55.1%）に分け、23区分をさらに各区に配分・交付しています



## 〈法律・生活相談〉 3月の定例法律相談日は 9日(木)です

ご要望やご相談などは随時ご連絡ください。事務所での定例法律相談は、毎月第2木曜18時から。平日の午後に法律事務所（北千住）でも可能です。お名前、電話番号等を下記の留守番電話に録音して下さい。

相馬 ゆうこ事務所 南千住5-1-6-2階 ☎3807-4192

# 来年度の学童クラブ申請状況～2か所で超過も

来年度の、南千住地域の学童クラブ申請状況は、定員660人に646人（下表）となっています。この間、各学童とも定員を増やして受け入れてきましたが、新年度



は「南千住四丁目」（定員60人）を廃止、「南千住六丁目」と「汐入小」の2か所で申請超過に。

	定員	申請数	差引
南千住第一・第二	120	101	△19
南千住六丁目	100	145	45
汐入	110	89	△21
二瑞小	70	56	△14
汐入小	130	151	21
汐入東小	90	77	△13
東日暮里	40	27	△13
計	660	646	-

**大型化する学童クラブ** 受け入れできないのは困りますが、大規模学童が増えており、厚労省のガイドラインを超える状況も。

【定員数】	2018年度	2023年度	増減
南千住第一・第二	100	120	20
南千住四丁目	60	-	△60
南千住六丁目	-	100	100
汐入	80	110	30
二瑞小	60	70	10
汐入小	120	130	10
汐入東小	70	90	20
東日暮里	40	40	0
計	530	660	130

「南千住六丁目」は瑞光・三瑞の児童が主に利用していましたが、来年度の新入生から瑞光小児童は原則「南千住第一・第二」に。それでも、「六丁目」は45名の申し込み超過で、近隣学童で受け入れ調整を実施するようです。「六丁目」開設をめぐっては、これまで通り児童が希望する学童を選ぶよう求めてきましたが、区は「南千住四丁目」を廃止、



南千住六丁目学童

三瑞小は「六丁目」・瑞光小は「第一・第二」に制限。学校選択を実施する中で通学実態に合わない状況もあり、検討が必要です。



厚労省ガイドラインでは…  
「集団規模はおおむね40人程度までとすることが望ましい」  
(最大70人までとすること)

**ゆとりある保育環境を** 区は申請数増加にあわせて定員数をふやし、学童クラブの大規模化をすすめてきましたが、選択方法の見直しや学校内学童の検討など、詰め込みでなくゆとりのある保育環境づくりを、改めて求めます。利用者みなさんのご意見をお寄せください。

## スポセン、駐輪場所はふやしたけれど…



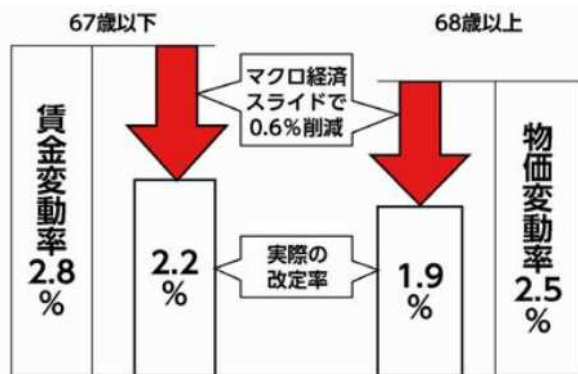
ビニールテープで線が引かれました

「スポーツセンターの駐輪ラックが使いづらい」というご意見を頂き、駐輪場所でない部分に停めてしまう自転車も多いことなど区に相談していました。

ラックの撤去が難しいようで、当面ラックの反対側を駐輪スペースとして使用ようですが、改善とはいえずモヤモヤ…。駐輪スペースなんだと割り切ってしまうえばそれまでですが、状況的には変わりません。バイクも含め、引き続き検討します。

# 4月から年金が実質削減～くらし支える年金に

4月から年金額が改定。67歳以下は2.2%、68歳以上では1.9%の増額ですが、物価上昇に追いつかない実質的な削減です。



年金額の改定は毎年度、前年の物価と、過去3年間の賃金変動率を指標に、改定ルールに基づいて実施。来年度は本来なら、67歳以下の人は「賃金変動率」のプラス2.8%が、すでに年金を受け取っている68歳以上の人は「物価変動率」のプラス2.5%が適用されるはずでした。



ところが、厚労省が「マクロ経済スライド」を発動し、2021・22年度分とあわせ、0.6%を「改定率」から差し引いたため、昨年の物価上昇率2.5%よりも低い改定にとどまっています。

「マクロ経済スライド」… 現役の被保険者の減少と平均余命の伸びに応じた「調整率」を物価分などから差し引く方式

**「くらしが成り立たない」の声も** 高齢者世帯は、家計に占める食費や水光熱費の割合が高いため、物価上昇率は2.9%と平均より高く、くらしへの影響は深刻です。

さらに、東京都区部の1月の「消費者物価指数」は上昇率4.3%で、1.9%では半分にも届かず「くらしが成り立たない」と切実な声があがっています。

年金削減、医療費の負担増など、高齢者のくらし切り捨ては許せない。

給与が上がらない、教育の負担が大きいなど、子育て世帯や若者のくらしも厳しく、世代にかかわらず支援が必要。消費税の減税をはじめ、根本的な経済政策の転換を国に求めたい。



## 春が近づいています



自然公園の梅

荒川自然公園では梅、汐入公園では梅、ロウバイ、河津桜などが咲き始めています。湯島天神の梅まつりも3月8日まで開催。寒い日も続きますが、春の訪れを感じに出かけてみては。

汐入公園のロウバイ↓



↑河津桜 (SNSより)

**ご意見・ご質問頂きました** ○「京成バスの北千住駅行きが、土日廃止で平日便だけになるようです。ただでさえ一日数本しかないのに、さらに、便数が減れば、利用者がいなくなってしまう」「なぜ、荒川区は、補助を出して便数確保や値上げを抑制しないのか、理解できない」など…バスの運行などに対して意見があちこちから。区として、さくらバス運行への補助を実施するように働きかけたい。○最近こんな相談も…「高齢の父母に子どもたちで、毎月数万円づつ援助していましたが、限界です」共倒れにならないように対策が必要です。お気軽にご相談を

